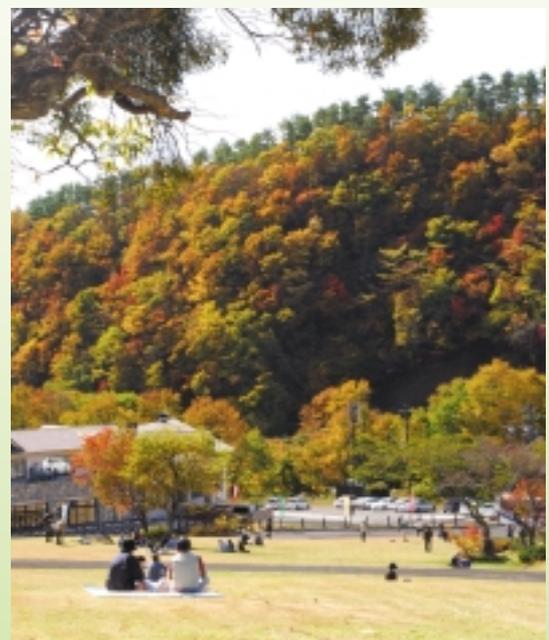




◎主な内容

- インフルエンザは怖い病気！ …………… 2～3
- ゴミの減量化に向けて① …………… 4
- 魅力ある地方を目指して …………… 5
- スポーツの秋、芸術の秋、文化の秋… … 6～8
- 将来の夢や目標をもっていますか？
～全国学力・学習状況調査結果より②～ … 9
- 地域で支えあうまちづくりを …………… 10
- 江府町学校教育の充実振興に関する要望 ほか … 11
- 町の話 …………… 12
- 心も元気！体も元気！ …………… 13
- スタートしました！小地域懇談会 ほか … 14
- 11月の本棚～町立図書館より～ …………… 15
- 情報コーナー …………… 16～17
- 行事あれこれ ほか …………… 18
- 人の動き ほか …………… 19
- 鍵掛峠紅葉 ほか …………… 20



インフルエンザは怖い病気!

インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染によって起こる病気です。普通の風邪と違い、突然、三十八度以上の発熱や頭痛、強い倦怠感(だるさ)などの全身症状がみられ、ときには合併症により重症化することがあります。そのウイルスの感染力は強く、人から人へと感染します。高齢者や抵抗力が弱った人に感染すると、生命にも危険を及ぼすことがある恐ろしい病気です。

●インフルエンザと普通の風邪の違いは

普通の風邪の症状は、のどの痛みや咳(せき)などが中心で、全身症状はあまりみられません。また、重症化することは、ほとんどありません。インフルエンザの場合、三十八度以上の発熱、頭痛、関節痛などの全身の症状が強く、普通の風邪の症状もみられません。さらに、気管支炎、肺炎などを併発し、重症化するこ

とがあるのも特徴です。また、インフルエンザは流行性の病気で、短期間に乳幼児から高齢者まで大勢の人に感染します。

●インフルエンザにかからないためには

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみなどとともに放出されたウイルスを、吸引することによって感染します。(飛沫感染といわれます)

予防の基本は次のとおりです。実践をしてください。

◇うがいや手洗い

のどの奥の粘膜や手指などに付着した、インフルエンザウイルスを除去する有効な方法です。特に、外出した後は、念入りに行ってください。

◇流行前のインフルエンザワクチン接種

インフルエンザワクチンは、インフルエンザにかかった場合の、重症化防止に有効とされています。

◇バランスの良い食事と十分な休養

身体の抵抗力を高めるために、十分な休養と栄養を普段から心がけてください。

◇室内の湿度は五十%から六十%に

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザに感染しやすくなります。室内の湿度は、五十%から六十%に保つよう

◇人混みや繁華街は避け、外出時にはマスク着用

インフルエンザは、飛沫感染します。インフルエンザの流行する時期には、人混みへの外出は控え、外出するときにはマスクを着用してください。

●インフルエンザにかかったら

自己判断で、風邪だと決まらずに、早めに医療機関を受診してください。また、安静にして休養をし、特に、睡眠を十分にとることが大事です。水分も、十分に補給しましょう。

※市販の風邪薬といわれるものは、インフルエンザウイルスや細菌に、直接効くものではありません。

●ワクチンはいつごろ接種すれば?

個人差はありますが、ワクチンの効果が現れるまで、約二週間かかります。インフルエンザの流行は、通常一月上旬から三月上旬ですので、十月中旬までに接種することをお勧めします。また、二回接種の場合、二回目の接種は、一回目から一週間から四週間あけて接種します。一回目は早めに接種しましょう。



※不明な点など、必ずかかりつけ医などに相談してから接種してください。

●ワクチン接種による副反応は?

副反応は軽く、十%から二十%でワクチンを接種した場所の、発赤、腫れ、痛みなどを起こすことがあります。全身性の反応としては、五%から十%で発熱、頭痛、関節痛などがみられます。両方とも二日から三日で症状はなくなります。

アレルギー反応として、湿疹、じんましんなどが数日見られることもあります。

●ワクチン接種で健康被害が発生した場合

予防接種法による定期接種の場合、厚生労働大臣が認定すると、予防接種法に基づく健康被害の救済措置の対象となります。任意接種による場合、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による救済となり、医療費、医療手当てなどが支給となります。

●江府町の対策は

日本のインフルエンザの流行、拡大は小学生から始まると考えられています。乳幼児、小中学生がインフルエンザに感染する率も高くなっています。

江府町では、子どもたちの七割が祖父母世代と同居していることから、高齢者だけでなく、子ども世代の感染、拡大の防止が必要です。

このことから、小児インフルエンザ予防接種にかかる費用の助成を行います。

これにより、インフルエンザの感染予防を図り、流行の拡大、インフルエンザによる合併症、重症化を防ぐことができると考えています。

予防接種は、あくまでも任意です。該当の方は、配布しています説明書をよく読み、接種を行ってください。



平成20年度江府町小児インフルエンザ予防接種事業 (概要)

- 予防接種の種類：インフルエンザワクチン
- 対象：江府町に住所を有する生後6か月児から中学3年生まで
(平成5年4月2日から平成20年6月30日生まれ)
- 助成内容：接種にかかる費用の2分の1を助成(1回の上限500円)
対象者1人につき2回接種が原則
- 事業期間：11月4日から1月31日まで
- 実施医療機関

	江尾診療所	佐伯医院	日野病院
受付時間	8:30~12:00 13:00~16:30 (月曜は18:30まで)	9:00~12:00 16:00~17:00	(月~金) 14:00~16:30 (第2・4土) 9:00~11:30
休診日	第1・3・5土 第2・4土午後 木午後・日曜・祝日	第2土・木午後 日曜・祝日	第1・3水午後 第1・3・5土 日曜・祝日
その他	午後に接種希望の方は、事前に予約してください。	※要予約制	※要予約制

- 注) ①江府町が発行する受診券が利用できるのは、上記の医療機関だけです。
- ②接種後30分間は、アレルギー反応(息苦しさ、じんましん、せきなど)が起こることがありますので、医療機関で様子を見る必要があります。必ず上記の時間内に受付をしてください。
- ③診察日、診察時間などについては、医師が不在の場合や変更がある場合があります。受けられる前に各医療機関にお問い合わせをしてください。

本事業に関するお問合せ先 江府町役場 福祉保健課
電話 (0859) 75-6111
FAX (0859) 75-6161

ゴミの減量化に向けて①

今月号から「ゴミの減量化に向けて」と題して、ゴミ問題についてシリーズで特集していきます。

初回では、江府町から出されるゴミの排出量の推移についてお伝えします。

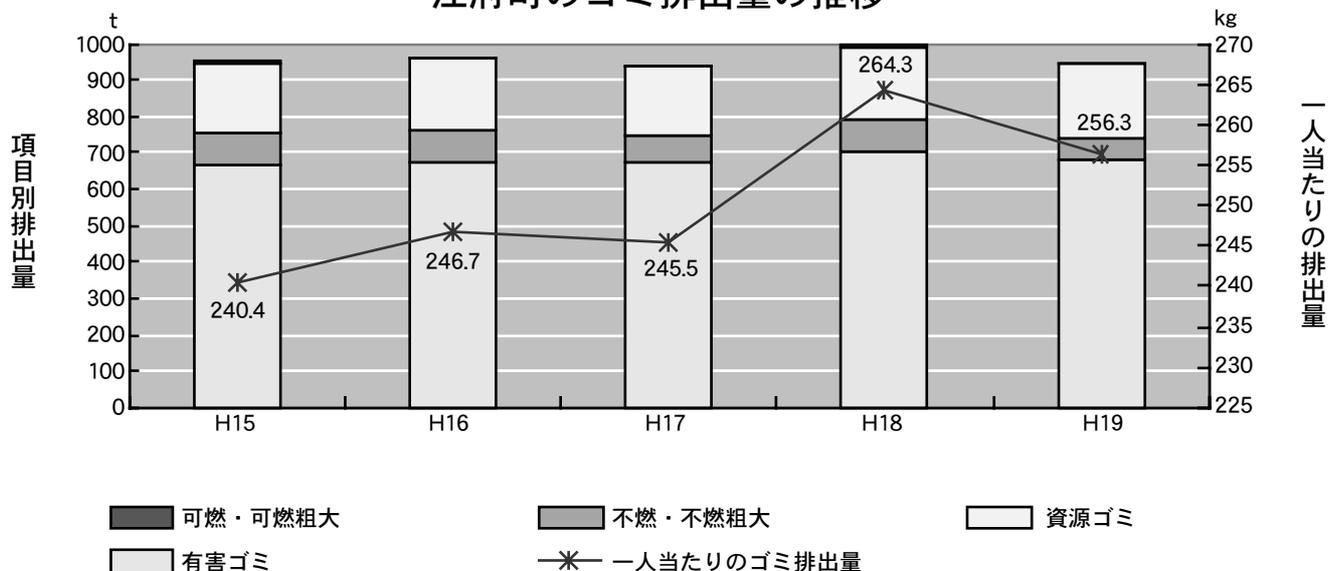


一人当たりのゴミ排出量が、増加傾向にあります。ゴミ全体の年間排出量は、平成十九年度の場合、九百四十五・一tでした。過去五年間の推移としては、平成十八年度が多いものの、全体的にはほぼ変わらないといえます。

しかし、一人当たりのゴミ量に換算してみると、平成十五年年度では、二百四十四・四kgだったものが、平成十九年度では二百五十六・三kgに増えており、年々増加する傾向であることがわかります。

このことは、ゴミの種類別で見えた場合、不燃ゴミについては多少減少傾向にあるものの、可燃ゴミなどの増加が著しく、一人当たりのゴミ搬出量増加の原因となっています。

江府町のゴミ排出量の推移



ゴミを減らし、しっかり分別しよう

私たちの生活からは、毎日たくさんのゴミがでます。普段から「ゴミになるものを買わない・持ち込まない」意識を持ち、生活の中で出るゴミを少しでも減らすことに協力ください。ゴミを分別することで、資源はリサイクルされ、可燃ゴミの量を減らすことになります。可燃ゴミを減らすことは、ゴミ処理の経費を減らすことになります。また、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの排出量を減少させ、環境への負担を減らすことにつながります。

(単位: t)

項目	H15	H16	H17	H18	H19
可燃・可燃粗大	669.2	675.9	675.8	704.1	678.4
不燃・不燃粗大	86.4	86.4	72.1	84.5	59.4
資源ゴミ	191.6	197.3	188.1	203.2	205.2
有害ゴミ	2.0	2.0	2.5	0.9	2.1
合計	949.2	961.6	938.5	992.7	945.1

(単位: kg)

一人当たりのゴミ排出量	H15	H16	H17	H18	H19
一人当たりのゴミ排出量	240.4	246.7	245.5	264.3	256.3

魅力ある地方を目指して

>> 頑張る地方応援プログラム <<

「魅力ある地方」の創出に向けて、前向きに取り組む地方自治体に対し、地方交付税などの支援措置がある「頑張る地方応援プログラム」が、平成19年度からスタートしています。

地方交付税などの支援内容は、プロジェクトに取り組む地方公共団体に対し、1年あたり3,000万円を限度に、3年間特別交付税で交付されます。

町は、平成20年度、次のプロジェクトに取り組んでいます。

●企業立地促進プロジェクト

[()円は総事業費]

実施年	平成19年度～平成21年度	
目的概要	雇用の拡大や若者の定住促進など、町の活性化のため企業誘致を積極的に進める。さらに、町内農林業や商業、観光関連企業との、異業種交流を盛んにして、産業全体の発展を図る。	
具体的な事業施策		
	工場進出周辺地域の環境影響調査のため、現地調査や河川などの観測データの収集を行う。結果を住民に公表し、資源の活用と自然環境保護との調和を図る。	685千円
	企業誘致促進のため、道路・情報通信施設環境などを整備する。	31,719千円
	総計	(72,777千円) 32,404千円

●子育て支援プロジェクト

実施年	平成20年度～平成21年度	
目的概要	人口の減少、少子・高齢化が急速に進むなか、子どもを安心して育てられるよう環境整備を図り、子育て世代のさまざまな負担を軽減する。	
具体的な事業施策		
	安心して子育てができるように、母子の健康診査や健康相談、食生活指導などを実施する。	1,419千円
	夏休みを中心に学童保育を実施し、共働き家庭を支援する。	1,497千円
	母または両親のない子の福祉の増進を図るために、父または養育者の収入に応じ、父子年金などを支給する。	922千円
	義務教育中の児童・生徒が、障害などにより、公共交通機関を利用することが困難な場合、保護者および本人の経済的・身体的負担の軽減を図るため、通学の支援を行う。	1,495千円
	中学1年・3年について、教諭の加配により少人数学級を実施し、子育てについて家庭との連携を強め、教育効果の向上を図る。	6,700千円
	高等学校、大学などに進学する能力を持ちながら、経済的理由により修学が困難な者に対して、進学奨励金を支給する。	648千円
	総計	(25,362千円) 12,681千円

●安全・安心なまちづくりプロジェクト

実施年	平成20年度～平成22年度	
目的概要	有事に備え、学校など町民が多く利用する施設、避難場所となる施設などの安全性を高めるとともに、消火活動、救助活動に必要な資機材を整備する。また、救助などに必要な実践的な訓練を実施する。	
具体的な事業施策		
	旧耐震基準の学校校舎については、児童生徒の安全性の観点から、耐震化を進める。また、町民が集う施設についても、災害時には地域住民の避難場所となるなど、防災拠点としての機能を併せ持つことから、耐震化などの整備を進めていく。	4,208千円
	災害予防、応急対策復旧対策を整備し、防災対策に取り組む。また、広域的な防災体制の確立を進めるとともに、町民との連携や自主防災組織の育成支援を行っていく。緊急情報伝達に不可欠な、防災無線などの通信機器の整備を図る。	3,200千円
	総計	(34,800千円) 7,408千円

スポーツの秋、芸術の秋、文化の秋…

彩りゆたかな奥大山の秋を行く！

秋深し…。朱色に光りながら、たわわに実った柿の実、赤や黄色の紅葉にそまった美しい山々。すばらしい自然に包まれたふるさと奥大山の秋は、厳しい冬を前に、スポーツや芸術・文化に親しむ最高のシーズンです。

そこで、さまざまなスポーツ・文化行事でにぎわったこの秋を、日記風に振り返ってみました…。

■十月六日（月）

今日は、米沢小学校でオペラリサイタル、運動公園でグラウンドゴルフ大会が開かれました。

オペラリサイタルは、米沢小学校の先輩、大岩道也さん（下蚊屋出身）を招いて行われ、おとしに次いで二回目です。前回、学校最後の年にはぜひまた来てください、との約束がかない、感動の再会

となりました。



大岩さんの海外生活での貴重な体験談や、すばらしい歌声を聞いたあとは、全校児童が合唱指導を受け、会場は大きな拍手で包まれました。



午後は、運動公園でグラウンドゴルフの県民スポレク予選会がありました。厚い雲に覆われ、少し寒い風の中でしたが、三十名の選手たちは、月末のスポレク大会目指して一打入魂、時折大きな歓声を上げながら真剣にプレーしていました。



上位の結果は次のとおり。

- 第一位 梅 林 美 鈴
- 第二位 門 村 勝 美
- 第三位 梅 林 芙 美子

■十月七日（火）

今日は、江尾小学校で「本物の舞台芸術体験事業」の観劇がありました。劇団道化座により演じられた『スーホの白い馬』。町内の小学生全員と保育園の年長さんが江尾小体育館に全員集合して、一緒に歌を歌ったりしながら楽しく観劇しました。

特に江尾小学校の三年生は、団員の方と一緒にステージ前に立ち、歌と踊りを披露しました。はじめての体験でしたが、練習の成果を見事に発揮、堂々のステージでした。



■十月十三日（月）

伝統の、壮年野球大会開幕です。不惑の歳を迎えたルー

キーも、初出場から二十年近くとなるベテランも、日頃の運動不足をもとめせず、ハッスルプレーを繰り広げました。



三日間にわたる熱闘を制したのは、本町五丁目・小江尾・久連の三集落で構成された、江尾第二チーム。第十八回大会からの八連覇となりました。

●決勝

江尾第二 12 対 5 本町一



■十月二十日(月)

一日の仕事を終え、もうひとがんばり。職域卓球大会が開かれ、夕方の総合体育館に七チームが集結。二つのブロックでの予選リーグ、決勝トーナメントと、熱戦を展開しました。



決勝戦は商工会と統合を目前にした小学校連合の対決。終始五人の固定メンバーで戦った小学校連合が初優勝で有終の美を飾りました。



■十月三十一日(金)

朝からにぎやかな防災・情報センター。今日は、明日から始まる町文化祭展示の部の作品搬入と飾り付けです。講座や教室で仲間と一緒に楽しんで作ったもの、個人の趣味や特技を活かしたものなど、取り付けられたボードやテーブルには、あふれんばかりの作品がならびました。



日ごろの学びの成果を発表する絶好の機会。自慢の作品を飾りつけるみなさんの表情も晴れ晴れとしています。

■十一月二日(日)

江府中学校では恒例の文化祭が開かれています。今日はその二日目。伝統の吹奏楽部定期演奏会・全校合唱がありました。



毎年、すばらしい演奏と美しいハーモニイ、そして楽しいダンスで会場を盛り上げる中学生たち。今年も、話題のグループのあの曲『羞恥心』を先生も生徒も一緒に歌い踊り、体育館はパーティー会場に早がわり。アンコールも飛びだし、楽しいひとときを過ぎました。

運動部の仲間が次々と引退していくなか、この日まで毎日練習を続け、すてきな演奏を聴かせてくれた吹奏楽部の三年生。『ハナミズキ』のメロディーにのせて先生や仲間

家族への感謝の気持ちをつづった部長のあいさつには、三年生みんなの思いがこもっていました。



■十一月八日(土)
今日は、町文化祭の後半行事のスタート。そして夜は本

町五丁目解放文化祭の文芸発表会がありました。

朝から冷たい雨がしとしと降るあいにくの空模様でしたが、防災・情報センター駐車場で行われたフリーマーケットやチャリティーバザーは大盛況。あちこちのテントから「ありがたい声がきこえていました。」



午前十時。J A江府支所の会議場で、文化祭舞台発表の第一部が開会しました。



総合進行は、高校生ボランティアの三人。このほか、受付や舞台係も、出演団体のみなさんが手分けをして運営しています。

舞台は、日本舞踊「あやめ会」のあでやかな舞で幕を開けました。



公民館講座のフラダンスチームは、自慢のコスチューム、ピンクのムーニーに身を包み南国ムードたっぷりです。続いて、おなじみの日本舞

踊「さくらグループ」。壮大な大地を思わせる太極拳は、文化祭初登場でした。



第一部のトリは、子供の国保育園の「日野川子ども太鼓」。元気な掛け声と、切れのよいバチさばきは、すっきり江府町のイベントの顔となりましたね。



舞台発表の傍ら…。防災・情報センターでは、押し花などの体験講座も開かれ、会場は多くの参加者でにぎわいました。



舞台発表の盛り上がりを引き継ぎ、明道館では夕方から解放文化祭の文芸発表が行われました。

児童生徒の学習発表、PTAによる出し物や、すっきりおなじみとなった、小谷良夫さん（元江尾小教諭）の作品など盛りだくさんの演目に、満員の会場は熱気いっぱい。最後は恒例のライブで幕を閉じました。



■十一月九日（日）

奥大山の秋、クライマックス。今日は文化祭舞台発表の二日目です。舞台は、『江府町讃歌』の作曲者である手島隼人さん主宰の合唱グループ「麦の会」を特別ゲストに迎えて開幕しました。



来春の統合を前に、四小学校最後の工夫をこらした合唱や合奏、円熟味を増した大正琴「暁の会」、アイリス合唱団も美しいハーモニーズを響かせていました。ハンドベルのベルフレンドは、江府町讃歌

のアレンジを初披露しました。また今年は黒坂警察署の防犯寸劇が初登場。振り込め詐欺の防止を、ユーモアを交えながら訴えました。



最後に登場したのは吹奏楽部を中心とした江府中の生徒たち。学校文化祭に続き大いに会場を盛り上げてくれました。名実ともに秋の終わりに。底冷えの中、会場の江府中体育館は出演者の熱意にあふれ文化の香り高いひとときとなりました。：駆け足でふりかえった奥大山の秋。来年は、さらに多くのみなさんが楽しんでくださいますように。



将来の夢や目標を もっていますか？

～全国学力・学習状況調査結果より②～

10月の町報で「全国学力・学習状況調査」の学習面の結果概要をお知らせしましたが、今月は江府町の小学校6年生・中学校3年生の生活の様子（質問紙調査より）についてまとめました。県や全国の調査結果と比べ、よい点や課題になる点を取りあげています。

◎よい点・・・小・中学校とも県・全国平均を上回っている項目

▲課題・・・両方又は、小・中学校のどちらかが県・全国を下回っている項目

《質問紙調査(生活の様子)より》

◎よい点

▲課題

- ◎「朝食を毎日食べていますか」
- ◎「新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか」
- ◎「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか」
- ◎「今住んでいる地域の行事に参加していますか」
- ◎「人が困っているときは進んで助けていますか」
- ◎「近所の人に会ったときには、あいさつをしていますか」
- ◎「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」
- ◎「海、山、湖、川などに行って、自然のすばらしさを感じた事がありますか」
- ◎「動物を飼育したり、花や野菜を育てたりしたことがありますか」
- ◎「家の人と学校での出来事について話をしていますか」
- ◎「家で食事をするとき、テレビを見ないようにしていますか」
- ▲「自分にはよいところがあると思いますか」
- ▲「将来の夢や目標をもっていますか」
- ▲「家の手伝いをしていますか」
- ▲「難しい事でも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」
- ▲「テレビやビデオ・DVDを見たりする一日あたりの時間が3時間以上」

上記の結果から、「地域の行事に参加する」「地域の自然に関心をもつ」「家庭で学校での出来事を話す」「近所の人にあいさつをする」などが県・全国平均に比べると高く、家庭や地域での関わりの様子が見えてきます。

反面、「家の手伝いをするか」では小学校が、「自分にはよいところがあると思うか」については中学校が県・全国平均に比べると肯定的回答が低いという結果でした。「将来の夢や目標をもっていますか」については、小・中学生とも県、全国を下回り、興味もてることや自分のやりたいことなどが見つかりにくい傾向もややあるようです。「将来の夢」が見つかるような人との出会いや関わりが、今後大切になってくるのではないのでしょうか。

地域で支えあうまちづくりを

江府町の人口は、平成二十年九月末で、三千六百三十六人、その内六十五歳以上が、千三百八十人（高齢化率三〇・八％）です。江府町の高齢化は鳥取県下では、第三位です。

このような状況のなか、介護認定者も増加しています。認定率は七七・一％、認定者の八割以上は七十五歳以上の方です。

平成十二年度に介護保険制度が出来てから、江府町の介護認定者の原因別推移は、左のとおりグラフとなります。最も多いのは、脳卒中など

の脳血管の病気によるものです。近年、骨・関節の病気、認知症が増えています。

を入れると同時に、地域で見守る体制づくりが大切になってきます。

「歳を重ねて、心身の機能が低下するのは、仕方ないこと」と、考えている方も多くと思います。

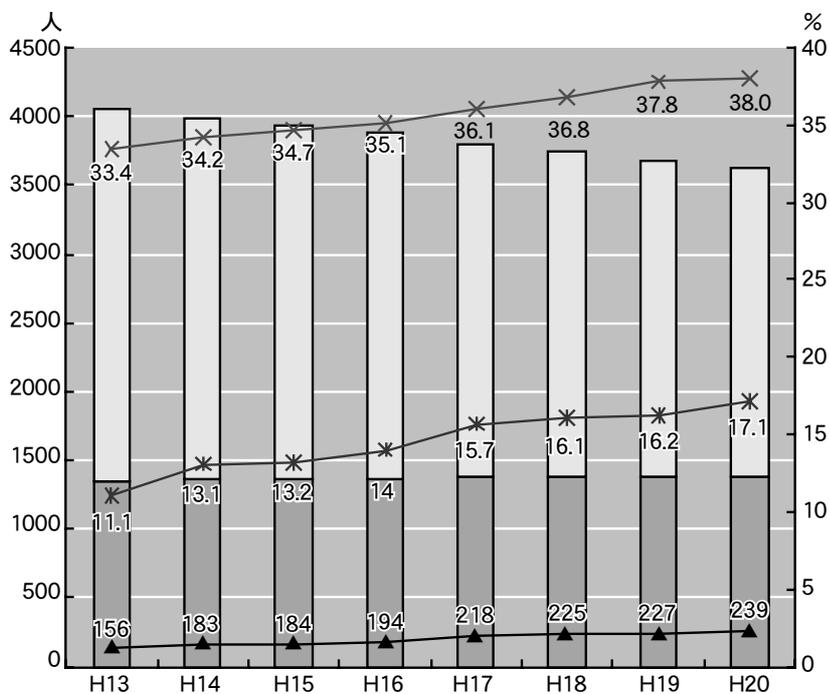
町では、地域で見守る体制づくりを目指して、「高齢者見守り講演会」を次のとおり行います。参加希望の方は、福祉保健課（七五―六一―）まで連絡をしてください。

心身の機能を低下させる最大の原因は、「もう歳だから」「おっくうだから」と、身の回りのことや、外出をしなくなることにあります。体や頭を使わない生活は、筋力や意欲を低下させ、やがては要介護状態や認知症を招く事にもつながります。

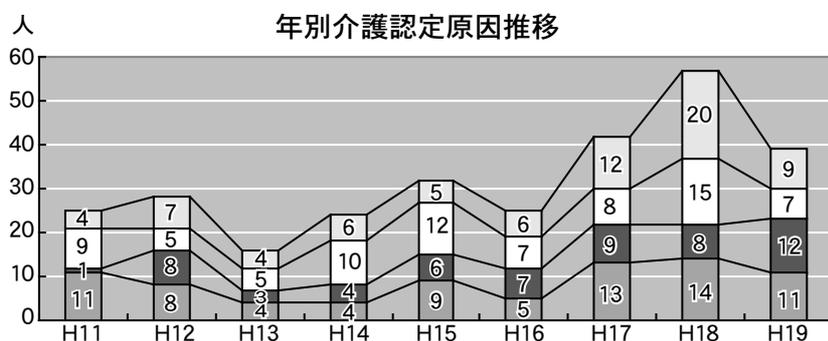
○日 十一月十九日
○時 十三時～十六時三十分
○場 江府町総合健康福祉センター
○講演内容 「地域で見守る体制づくり」

今後さらに、介護予防に力

をいれると同時に、地域で見守る体制づくりが大切になってきます。



■ 65歳以上 □ 65未満 × 高齢化率 * 要介護認定者割合 (第1号)
▲ 要介護認定者数



□ 脳血管の病気 ■ 認知症 □ 骨・関節・脊髄 □ その他の病気

『認知症の人と家族の会』 を行います

日時 11月21日 10時～12時

場所 江府町総合健康福祉センター

対象 認知症の方を介護している方

詳細については

役場福祉保健課 (75-6111)

までご連絡ください。

江府町学校教育の充実振興に関する要望

く小中学校PTA連絡協議会から町長へく

九月三十日、江府町小中学校PTA連絡協議会から、『江府町学校教育の充実振興に関する要望書』が提出され、十月三十日に、町長との意見交換会が行われました。

この要望は、毎年、通学路の安全や学校施設・設備など児童・生徒の教育環境整備に向けてPTAが行っているもので、今年も、例年の全体共通要望、各学校PTAからの要望に加え、小学校統合に伴う項目について、より具体的な質問・要望を受け、竹内町長が回答しました。

通学路の安全、通学関係では、どの学校にも児童生徒にとって危険な箇所があり、見通しの悪い道路のカーブミラーや標識設置、防犯灯の設置、冬季間の除雪などが要望されました。特に、来年三月からの町営バス運行に伴って徒歩区間が変更になる部分の除雪、バス停周辺の整備、四月からの小学生の通学の安全について

では、子どもの安全を第一に思う保護者の強い要望がありました。

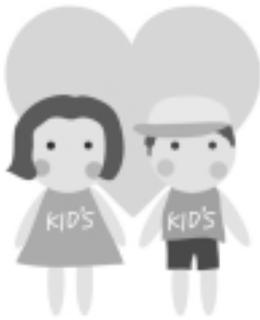
これに対し、町長は「通学路上で、特に家からバス停までの安全対策については、新たな課題として対処していかなければならぬと思う。カーブミラーや防犯灯なども、町全体を点検しながら積極的に対応したい。通学路に関しては町で対応できるものについては検討し、県や警察などが所管のものについては、今後要望していきたい。」と回答しました。

* * *

学校経営関係では、少人数学級設置のための教員配置、新学習指導要領の実施に伴う教材・教具・設備等の充実、図書館教育の充実としてシステムの導入、補助員の配置などが出されました。町長は「厳しい財政状況の下でも、学習に欠かせないものや校内の危険回避対策については優

先的に予算措置をしたい。また、図書館の事務補助員や用務員の配置については、小学校、中学校一校ずつになることもあり、常勤配置を検討したい。」と回答しました。

最後に、連絡協議会長の妹尾和之さん（江尾小PTA）が、「町の財政が厳しい状況であることは、私たちも十分承知しています。そのような中、前向きな回答をいただきましたのでこの回答を持ち帰り、会員へ伝えるとともに、私たちにもできることはないか、今一度考えていきたいと思えます。」とあいさつをし、要望会を終了しました。



ブライアンのフリーストーク⑮

Cultural Festivals (文化祭)

Hi everyone, this month there is a Cultural Festival in Kofu and I'd like to talk about cultural festivals in America. First, we don't have a school cultural festival in the U.S. Instead, we have talent shows, school dances, pie-eating contests and all sorts of other fun events. People on the student council propose ideas to the teachers and if the ideas are approved, they get to do the event. Students are also in charge of decorating, advertising and acting as the hosts for the events.

みなさん、こんにちは。今月は江府町で「文化祭」があるので、アメリカでの「文化祭」について話したいと思います。

アメリカでは、全校での文化祭はないし、年に1回だけでもないです。タレントショー、スクールダンス、パイの大食い大会などがありますが、それは有志によるイベントなので、出たい人に限られています。なので、友達の影響でダンスなどに出る生徒がほとんどです。

どうやってそのイベントをするかという、生徒が先生にアイデアを伝え、許可をもらったらそのイベントができます。

飾りつけやチラシを作ることは、生徒の仕事で司会も生徒がよくします。

以上、ご紹介したことはアメリカの中学校でのお話です。日本では、高校や大学の学園祭でよく見られる光景ですね。

アメリカでは早くから自立させ、積極的に社会参加をさせていくようです。



あなたのまわりの
明るい話題お知らせください。
町民生活課
☎75-3223

町 の 話 題

平成二十年度 鳥取県畜産共進会

十月十一日、琴浦町鳥取県中央家畜市場で、鳥取県畜産共進会が開かれました。

鳥取県全域から和牛四十一頭、乳牛六十七頭の出品がありました。

江府町からも、和種種牛の部に一頭が出品され、上位入賞を果たしました。

★成績

第一部 和種種牛の部
第二区若雌（平成十九年五月十二日～平成十九年八月十一日までに生産）
出品数十八頭
優等賞三席 「なつみ号」
下蚊屋 越峠 嘉道さん

また、川上正昭さん（小原）の「あきひめ一五号」が十一年連続で出産をしたという事で、連産牛表彰を受けました。



西ノ島町 姉妹町交流

十月四日、五日の二日間、島根県西ノ島町で、姉妹町の経済交流を行いました。

四日は両町から農協、漁協、郵便局、商工会、行政の関係者などが集まり、経済交流協議会の総会が開かれ、双方の特産品販売について話し合いをしました。

五日は、伝統行事の「帝祭（みかどまつり）」に物産を出展しました。大根、トマト、白ネギ、ピーマンの新鮮野菜のほか、みそ、米、焼肉のたれ、ケチャップ、奥大山の水、竹酢などの特産品販売し、交流を深めました。



池ノ内常盤会防災訓練

十月二十三日、池ノ内常盤会は自主防災組織としての活動として、防災訓練を行いました。

今回の訓練は、女性会員の方が災害を想定しての、炊き出しの訓練でした。常盤会は、平日昼間の災害に対応するため防災体制を整え、消火訓練や救命救急講習を開くなど、積極的に防災活動に取り組んでいます。

平成十九年十一月には、自主防災活動の取組が認められ、鳥取県知事から表彰されています。



十月十六日、明德学園専門課程に江府中一年生三十九名が「入学」し、交流学习を行いました。

給食を終えて午後一番、先輩が待つ教室へ緊張した面持ちで訪れた中学生たちは、早速授業に。それぞれが志望した講座で真剣に課題に取り組んでいました。

* * *

最近の子どもは、家庭での会話をよくしているとは言えないようですが、江府町の小学生は「家の人と学校での出来事について話している」割合が県や全国の平均を上回っています。（学力・学習状況調査より）しかし、近所のお年寄りと話したり、知らない大人と交流する機会は日常的にはあまりありません。

この日は、短い時間でしたが、教えたり教えられたりしながらとてもなごやかな雰囲気でした。中学生にとっては貴重な社会体験の場として、また学園生にとっても、孫世代の若者と机を並べ同じ時を過ごす大変有意義なものとなったことでしょう。



～明德学園中学生交流～

心も元気！体も元気！

～町高齢者スポーツ大会～

十月七日、運動公園総合体育館において、江府町高齢者スポーツ大会が開催されました。

この大会は、町老人クラブ連合会と明德学園学生自治会共催により開催され二十九回目を迎えます。

開会式の後には、恒例のアトラクション、子供の国保育園年長児による「日野川子ども太鼓」が披露され、続いて、競技開始。



ボーリングや玉入れなどの五種目で得点を競い、和やかな中にも勝負を意識した真剣な表情が見られました。また園児との交流「ともだちみつけた」では、同じカードを持った園児と仲良く手をつないでゴール。フロアには笑顔があふれていました。



十月二十一日から懇談会が始まり、順調に実施されています。

今年の懇談会では『男女共同参画社会』をテーマに、暮らしの中に存在する男女間の不平等をしっかりと認識し、町民一人ひとりが男女共同参画を実践できる社会をめざして話し合いを進めていただいています。

『江府町男女共同参画プラン』策定の際に行われたアンケートでは、約六割の男女が「社会通念で格差がある」と回答していました。あれから三年を経て、意識の変化はあったでしょうか。

ここでは、前半を終えて、懇談会の中で出された意見の一部を紹介します。

スタートしました！ 小地域懇談会

*男も女もお互いに助け合って生活している。さまざまな決定事項についても民主的にやっている。良い意味で役割分担があり、集落がまとまっている。

*年代による感覚の差異はある。小学校の会合ではみんな準備し、みんな片付ける。老人会では女性のみが準備・片付けをしている。
*女性は、家事を理由に集落等の会合に出たがらない人がいるのではないか。

*いくら平等といっても男性・女性はやはり違うので、お互いに認め合って助け合う、できることをし合うことがたいせつではないか。

話し合いの雰囲気もよく、集落の記録をみても、ほとんどが「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と回答をいただいています。

少しずつ意識改革が進み、性別を超えてその人の人間性を尊重できる社会にしていかなければならないという流れが感じられます。この流れが後半の懇談会に、そして実践につながりますように。

考えてみましょう

じんけん

「女性の人権ホットライン」 ～全国一斉強化週間～

法務局及び人権擁護委員連合会では、悩みを持った女性が気軽に相談できる専用の電話相談窓口である「女性の人権ホットライン」を開設しています。

「女性の人権ホットライン」は、男女差別、セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス、ストーカー問題など、女性の人権に関わるあらゆることの相談に応じます。特に女性に対する暴力をなくす運動期間中の一週間を強化週間として下記のとおり開設時間を延長しますので、相談ごとをお持ちの方はどうぞご利用ください。

- 日時 11月17日(月)～23日(日)
月～金曜日 8:30から19:00
土・日曜日 10:00から17:00

電話番号 0570-070-810

第34回 江府町人権・同和教育研究集会

- 日時 12月15日(月) 12時30分～受付
- 内容

■ アンサンブル・サビーナ

「音楽と人権」コンサート

クラシック音楽のコンサートによって、個人の尊厳や自由・自立、市民的権利などの発展の歴史を考えていくことは、人権の意義を理解していくためにも有効な手法の一つです。『アンサンブル・サビーナ』は、「豊かな音楽は競争によって生まれるのではなく、お互いを人間として尊敬し、助け合う心から生まれる」という人権教育の趣旨で活動に取り組んでいます。

■ 特別報告 「子供の国保育園での人権・同和保育の実践」

■ 人権啓発標語・作文発表及び表彰

- 場所 山村開発センター



11月の本棚

～町立図書館より～

♪江府町立図書館♪

開館時間

月～金 8:30～19:00

土日・祝 8:30～17:30

TEL 75-2005

あたらしく入った本

小説・エッセイなど

- ・宿屋めぐり 町田 康 ・犯罪小説家 雫井脩介 ・死の薬 Saori
- ・骨音 (池袋ウエストゲートパーク3) / 反自殺クラブ (池袋ウエストゲートパーク5)
- Gボーイズ冬戦争 (池袋ウエストゲートパーク7) 石田衣良 ・宿命 東野圭吾
- ・告白 湊かなえ ・天然老人 秋山祐徳太子 ★鬱の力 五木寛之・香山リカ

そのほか

- ・なぜ君は絶望と闘えたのか 門田隆将 ★酵素力革命 新谷弘実 ・風天(フーテン) 森 英介
- ・おかずとご飯の本 高山なおみ ・決定版 米子・境港・西伯・日野ふるさと大百科 杉本良巳

児童・ヤングアダルト

- ・税金の絵事典 PHP研究所 ・漢検のひみつ 学習研究社 ・段ボールのひみつ 学習研究社
- ・スイカぼうず とみや真矢 ・もりたろうさんのじどうしゃ おおいしまこと
- ・ホテルの川 おおつきひとみ ・チャレンジミック! 1～4 ウォルター・ウィック

今月のおすすめ

★鬱の力

五木寛之・香山リカ

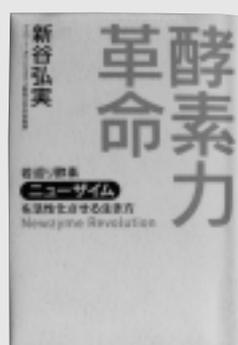
「鬱」イコール悪と思われているが、本当にそうだろうか？同じ問題意識を抱いた作家と精神科医が、うつ病の急増、減らない自殺、共同体の崩壊など、日本人が直面する心の問題を徹底的に語りあう。



★酵素力革命

新谷弘実

「新谷式食事健康法」には腸を健康し、血液をきれいにし、細胞をきれいにし、そのための極意がつまっています。酵素の力で若返りましょう！



今月のあやめ号

今月の運行地区・時間

・11月19日(水)

13:30～14:00	14:15～14:45	15:00～15:30
杉谷活性化施設前	美用公民館前	御机多目的集会施設前

・11月27日(木)

13:30～14:00	14:15～14:45
老人保健施設あやめ	チロルの里特別養護老人ホーム

・12月3日(水)

13:30～14:00	14:15～14:45	15:00～15:30
宮市構造改善センター前	助沢多目的集会施設前	下蚊屋集合施設前



行事あれこれ

11月

都合により、日程が変更される場合があります。

12月

日曜日	行事名	場所	時間
17月	ウエルビクス教室 歯科検診・フッ素塗布 公民館講座（墨彩画）	総合健康福祉センター 総合健康福祉センター 防災情報センター	9:30~11:30 受付 13:00~13:30 14:00~14:30 13:30~
18火	食生活改善推進員養成講座	総合健康福祉センター	9:00~
19水	高齢者見守りに向けた講演会 公民館講座（書道）	総合健康福祉センター 防災情報センター	13:00~16:30 13:30~
20木	明德学園 ふれあいデー 公民館講座（陶芸）	防災情報センター 子供の国保育園 高齢者創作館	9:30~ 10:00~11:30 13:00~
21金	認知症の人と家族の会 公民館講座（エコクラフト） 公民館講座（フラダンス） はつらつ運動教室	総合健康福祉センター 防災情報センター 防災情報センター 総合健康福祉センター	10:00~12:00 13:30~ 14:00~ 14:00~16:00
22土	公民館講座（和紙折紙）	防災情報センター	13:30~
23日	卓球大会（小学生の部）	町民体育館	9:00~
24月			
25火	ウエルビクス教室 2歳・3歳児健診 公民館講座（写真）	総合健康福祉センター 総合健康福祉センター 防災情報センター	9:30~11:30 受付 13:00~13:30 13:30~
26水	公民館講座（樹脂粘土） メタボ予防教室	防災情報センター 総合健康福祉センター	13:30~ 14:00~15:30
27木	ふれあいデー たんぼぼ学級 バドミントン教室	子供の国保育園 防災情報センター 町民体育館	10:00~11:30 19:00~20:30 19:30~
28金	公民館講座（パッチワーク） （エコクラフト） はつらつ運動教室 公民館講座（生花）	防災情報センター 総合健康福祉センター 防災情報センター	13:30~ 14:00~16:00 19:00~
29土	公民館講座（ガラスアート）	防災情報センター	10:00~
30日			

日曜日	行事名	場所	時間
1月	ウエルビクス教室 バドミントン教室	総合健康福祉センター 町民体育館	9:30~11:30 19:30~
2火	食生活改善推進員養成講座	総合健康福祉センター	9:00~14:00
3水			
4木	ふれあいデー バドミントン教室	子供の国保育園 町民体育館	10:00~11:30 19:30~
5金			
6土			
7日			
8月	ウエルビクス教室 公民館講座（絵手紙・油絵） （エコクラフト） バドミントン教室	総合健康福祉センター 防災情報センター 町民体育館	9:30~11:30 13:30~ 19:30~
9火			
10水	人権行政相談 公民館講座（書道）	防災情報センター 防災情報センター	9:00~12:00 13:30~
11木	ふれあいデー バドミントン教室	子供の国保育園 町民体育館	10:00~11:30 19:30~
12金	はつらつ運動教室 公民館講座（生花）	総合健康福祉センター 防災情報センター	14:00~16:00 19:00~
13土			
14日	町民バドミントン大会	町民体育館	9:00~

●広域隣保活動の参加希望者は本五集会所（☎75-2624）へ連絡してください。

ハローワークから求人情報

11月分

●求人情報・採用に関する事などは米子公共職業安定所根雨出張所（TEL72-0065）へ連絡して下さい。

求人事業所名	所在地	職種	年齢	賃金	就業時間
社会福祉法人寿耕会 子 口 ルの 会	久連7	介護職員（特養）	59歳以下	134,400~139,400	8:30~17:30 16:00~9:00
社会福祉法人寿耕会 子 口 ルの 会	久連7	看護師（正・准）	不問	148,500~158,500	8:30~17:30
社会福祉法人寿耕会 子 口 ルの 会	久連7	雑務員	不問	750~800（時給）	8:30~17:30
休暇村 大山鏡ヶ成	御机709-1	レストラン係（主任候補）	59歳以下	165,500~190,000	6:30~15:30 11:00~21:00

※町報掲載時までに、充足済等により求人を取り消しとなっている場合がありますのでご了承ください。

江府町人権同和問題啓発標語

江尾小学校4年 川上結衣 さべつから 大切な友だち 守ろうよ
米沢小学校4年 下垣舞林 一人では できないことも みんなでね

学年は応募があった平成19年度時点で掲載しています。

人の動き

10月届
(敬称略)

◎ご結婚を祝します

松井 英樹) 新道
松永枝里子) 米子市から
山下 典宏) 佐川
山根 陽子) 新一から

◎お誕生おめでとう

(住所) (氏名) (性別) (保護者)
助 沢 加藤 由梨 女 健一

◎ごめい福を祈ります

(住所) (氏名) (年齢) (世帯主)
小江尾 眞田 良一 91歳 初枝
本 二 田中 純子 74歳 本人
宮の前 松本 操 74歳 千登世
久 連 竹内美智枝 81歳 本人
下蚊屋 小椋昌聖子 38歳 政幸
柿 原 白川 秀子 83歳 彰
杉 谷 片山 恵子 50歳 勇
池ノ内 藤原 豊子 87歳 義仁
池ノ内 藤原美和子 50歳 賢司

ご 寄 付

社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。

(10月分) 敬称略

◎香典返しとして

本町二 浜本 伸介 父博死去
久 連 生田 人美 父正死去
宮の前 松本千登世 夫操死去
本町二 田中 裕二 母純子死去
柿 原 白川 彰 母秀子死去
小江尾 眞田 初枝 夫良一死去
杉 谷 片山 勇 妻恵子死去

生田洋二郎様から江府町立図書館に金一封ご寄付いただきました。ありがとうございました。

交通死亡事故ゼロ継続日数

998日 (11月1日現在)

火災ゼロ継続日数

4日 (11月1日現在)

町の人口 3,631人 (-5)
男 1,707人 (-1)
女 1,924人 (-4)

世帯数 1,143世帯 (-1)

10月末現在()は前月比

つけましたか? 住宅用火災警報器!

★いつから?

平成18年6月1日以降の、新築住宅には全てです。すでに建築された既存の住宅は、平成23年5月31日までに設置の必要があります。



★なぜ住宅に「火災警報器」が必要?

住宅火災による死者は急増中です。

「7割が逃げ遅れ」によるものです。平成17年中では、火災警報器を設置した場合、死者が3分の1まで減少しています。設置義務化により住宅火災の犠牲者が激減することが期待されます。



★どこに設置するのですか?

少なくとも全ての寝室と、1階と2階に寝室がある場合は、階段にも設置が必要です。

★どこで買えばいいの?

消火器などを販売している店や、ホームセンター、電気店などで取り扱っています。

★安心のNSマーク付

購入の目安として、日本消防技術検定協会鑑定基準合格品をお奨めします。



★訪問販売には充分注意を

既に被害が出ています。消防職員、消防団員を装った販売、不適切な価格、無理強いなどの悪質業者には充分注意してください。

※自治会、事業所などで講習会を希望される方は、消防署から出向して講習します。

【問合せ先】 江府消防署予防係 電話0859-77-2001

今月の国民年金

納付期限

11月分

平成21年1月5日まで

社会保険事務所から送られている納付書を添えて金融機関でお支払いください。

なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

《11月の納税は》

- ・ 固定資産税第4期
- ・ 国民健康保険税第6期
- ・ 介護保険料第6期
- ・ 後期高齢者医療保険料第5期

納付期限は12月1日(月)です。
(口座振替は12月1日)

色とりどりの

鍵掛峠、奥大山スキー場周辺は、11月に入り紅葉が見頃となりました。

紅葉しはじめは、天候に恵まれませんでした。しかし、11月に入り朝夕の気温もグッと下がり、例年のない紅葉の景色が楽しめました。



なくそう児童虐待 11月は児童虐待防止推進月間

児童虐待とは

- ・身体的虐待…殴る、蹴る、タバコの火を押しつける、熱湯をかける、家の外に閉め出すなど。
- ・性的虐待…子どもにワイセツな行為をすること、させることなど。
- ・ネグレクト（養育放棄・怠慢など）…
適切に食事を与えない、衣類を着替えさせないなどひどく不衛生なままにする、車内や室内に置き去りにするなど。
- ・心理的虐待…言葉によるおどし、無視や拒否的態度、兄弟姉妹間でのいちじるしい差別的態度など。

虐待のもたらす影響

子どもが成長過程で虐待行為を受けると、「無感動、鈍感、攻撃的、集中できない」といった、情緒的な問題や非行問題などが出現し、子どもの心身の成長や自立に大きな影響を与えます。

虐待の早期発見

虐待を受けた期間が長ければ長いほど、子どもには大きな影響が残ります。その影響からの回復のために、非常に長い時間と専門的なケアが必要になります。虐待の早期発見に努めることが非常に重要です。

「虐待では？」と思ったら

虐待を受けたのではないかとと思われる子どもがいたら、迷わず次の相談（通報）先に連絡をしてください。また、DV（家庭内暴力）や高齢者虐待についても相談（通報）先に連絡をしてください。

相談・通報先

役場福祉保健課（電話75-6111）土曜・日曜日、祝日、夜間の場合は役場（電話75-2211）

ハイと返事をしまし
よう

江府町
明るい家庭づくりのしおりから